



企画展「はやぶさ2」

はやぶさ2 機体原寸大模型

企画展「はやぶさ2」では、はやぶさ2の機体の原寸大模型を展示しています。機体の大きさを実際にご覧いただいて、その大きさ(小ささ)を体感してください。

はやぶさ2の機体の大きさは、ボディのサイズが幅100cm×奥行き160cm×高さ125cm程です。初代のはやぶさのボディと比べると、高さ方向に少しだけ大きくなっています。太陽電池パネルを広げた大きさは、およそ600cm×423cmという広さになります。また、探査機の全重量は約600kgと、初代のはやぶさに比べて少し重くなっています。打ち上げに使うロケットが、M-VからH-2Aに変わったことにより、打ち上げ可能重量が増えています。

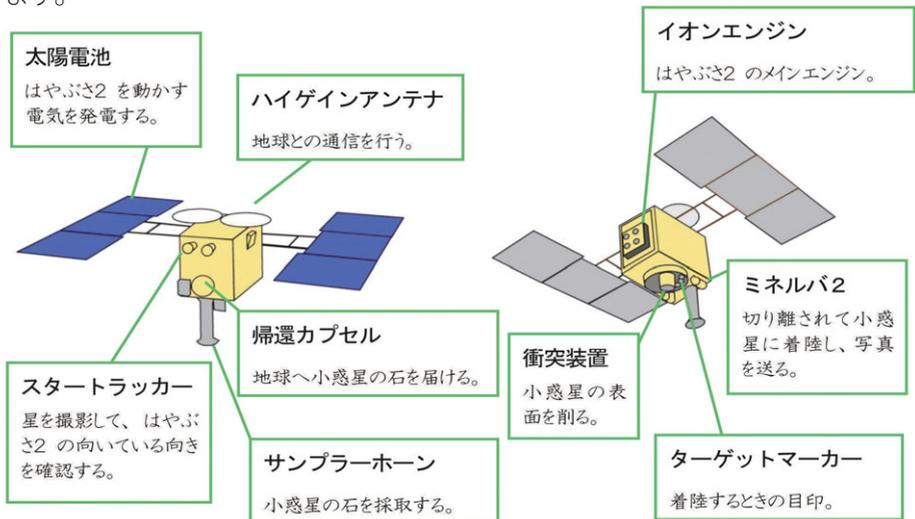


はやぶさ2の外観で、初代のはやぶさと大きく違っているのは、ハイゲインアンテナがお椀型のアンテナが平面アンテナに変わって、さらに2枚に増えたことです。2枚のアンテナは、外見上は違いが分かりませんが、通信に使う電波の周波数帯が異っており、小惑星への着陸の時のように、地球との通信データの量が多くなる時には、普段より高速で通信を行うことができるようになっています。

観測機器などの多くは、本体の下側(アンテナと反対側)の面に集められています。初代はやぶさでは3個だったターゲットマーカーは5個に増えています。初代のはやぶさミッションでは、小惑星へ到着してから小惑星を離れるまでの期間が3ヶ月しかない忙しい計画だったのですが、はやぶさ2で



は小惑星に到着してから離脱するまで約1年半の期間探査を行える計画になっており、余裕を持って調査を行えるだけでなく、小惑星への着陸も、より多くの回数行えるように、ターゲットマーカーの数を増やしています。また、小惑星表面にクレーターを作るための、衝突装置もターゲットマーカーの近くに搭載されています。



飯山 青海(科学館学芸員)

企画展「はやぶさ2」 11月30日(日)までです!